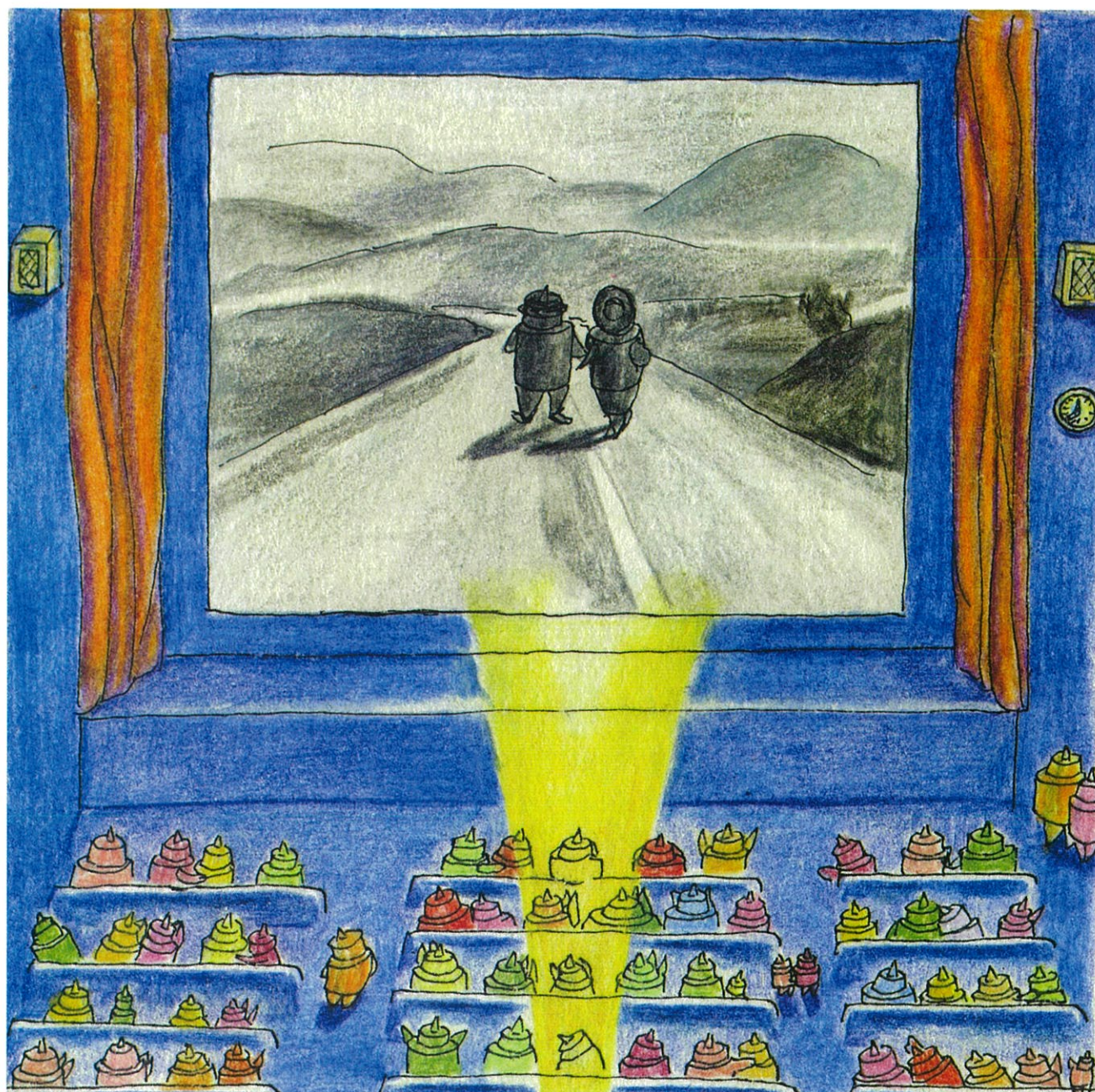




TOCHIGI INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2025

第1回 栃木国際映画祭



TOCHIGI INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2025

第1回 栃木国際映画祭

Day 1: 9.13 (Saturday)-Day 2: 9.14 (Sunday)-Day 3: 9.15 (Monday)

会場: 与一伝承館・那須野が原ハーモニーホール

Venue: Yoichi Heritage Museum/Nasunogahara Harmony Hall



<https://toiff.com/>



9月13日(土) 那須与一伝承館
10:00 オープニングセレモニー＋怖い家

怖い家



製作プロダクション:映画制作集団 大田原愚豚舎
製作:渡辺紘文・渡辺雄司・渡辺秀樹・渡辺あけみ
監督・脚本:編集:渡辺紘文
音楽監督:渡辺雄司
撮影監督:渡部友一郎

■出演
渡辺紘文、渡部友一郎、久次靖子、黒崎宇則、磯清峰、河手マナミ、戸田古道、榎田竜路、鶴巢直樹、鄭亜美
2025 | カラー | STEREO | 1 6 : 9 | 98分
【あらすじ】
かつては国内外の映画賞を賑わせ「世界の渡辺」などと謳われたものの、今は資金繰りにも窮するほど仕事に恵まれず、日々の生活にも困窮している映画監督の渡辺紘文。ある日、渡辺は謎めいた映画プロデューサーの牧陽子から東京に呼び出され破格の報酬の仕事を持ちかけられる。それは、幽霊が出ると噂される「怖い家」に1週間宿泊し、その様子を撮影するというものだった。一攫千金を夢見た渡辺は、牧の依頼を受けその家に足を踏み入れる。しかし、その家はただのいわくつきの家ではなかった。次第に「怖い家」の忌まわしい過去が明らかになり渡辺は想像を絶する恐怖に巻き込まれてゆく。この家は、なぜ「怖い家」と呼ばれるのか？そして、渡辺は無事に生還することができるのか？

12:55【特別上映】 菓鴨練習曲・彼女の自転車・ありがとう、おやじ

菓鴨練習曲



監督・脚本・プロデュース:松林 麗
撮影:小川葵
照明:佐古大輝
録音:後藤美波
編集:那紫演
Executive producer:小野光輔
Co-producer:後藤美波
Assistant producer:那紫演
協力: Ryozan Park、デジタルハリウッド大学

■出演
日高七海、仲野佳奈、松林うらら、中村涼花、渡辺紘文
2025 | モノクロ | STEREO | 1 6 : 9 | 11分44秒
【あらすじ】
菓鴨と池袋を舞台にした長編映画『ブルーイマジン』のサブキャラクターたちが、映画で描いている話の後に、菓鴨のカフェ「ブルーイマジン」で再会した設定のスピノフ作品。

彼女の自転車



監督:イ・ユンソク
撮影:バン・ウヒョン
照明:イ・ビョンゴン
録音:チョウ・ウジン
編集:キム・ダワン
制作:キム・ボラ
助監督:イ:コンウ
衣装:イ・ユンホ

■出演
コ・ウンミン、キム・ヒョンウ
2025 | カラー | STEREO | 1 6 : 9 | 11分37秒
【あらすじ】
大学新入生のイエジは夏休みの期間中、自転車の乗り方を先輩のコンウに教えてもらうことになった。約束した最後の日の前にイエジは自転車を一人で乗れるようになったが、コンウの前では乗れない振りをする。いよいよ夏休みの最後の日、イエジとコンウの最後のレッスンは始まる。

ありがとう、おやじ



総監督・脚本:関口明子
総合プロデューサー:関口将仁
監督:菊池元男
映像監督:木下愛貴
原作モデル・制作協力・伊東写真館:伊東一平
音楽プロデューサー:栗田智水
作曲・編曲:渡辺雄司／廣田修一／井上智美
事務局:藤田勝文／大金久美子
撮影協力・演奏協力
宇都宮短期大学附属高等学校

■出演
平山千華、出居由翔、福田直紀、速水啓、藤田真奈
2025 | カラー | STEREO | 1 6 : 9 | 33分3秒
【あらすじ】
父と息子 写真がつむぐストーリー 学校写真家として生涯を全うした父 そんな二人が紡ぎ出す感動の物語

9月14日(日) 那須与一伝承館
ショートフィルムコンペ 選出作品の上映とシンポジウム
【入場料・チケット情報】

【1プログラム鑑賞チケット】
前売り:1,200円／当日:1,500円通し券

【アクセス】

若者割引
未就学児:無料
小中学生:500円
18歳まで:1,000円

【通し券】
9月14日通し券:3,000円
9月15日通し券:4,000円
3日間フリーパス:8,000円

● 与一伝承館(9/13・14 開催)
道の駅「那須与一の郷」内
〒324-0012 栃木県大田原市南金丸1584-6

【電車＋バス】JR那須塩原駅より
大田原市営バスで約60分「道の駅那須与一の郷」下車
【バス】JR那須塩原駅より約10分
【バス】JR那須塩原駅より約10分

● 那須野が原ハーモニーホール(9/15 開催)
〒324-0056 栃木県大田原市本町1-2703-6

【電車＋バス】JR那須塩原駅より
大田原市営バスで約15分「ハーモニーホール前」下車
【バス】JR那須塩原駅より約10分
【バス】JR那須塩原駅より約10分



QRコード (公式サイト)

前売り券 teketで発売中! ▶ 詳細情報は公式Webサイト: <https://toiff.com/> にてご確認ください

9月15日(月・祝) 那須野が原ハーモニーホール
10:00 アジアのユニークな国 (2025)

アジアのユニークな国



脚本・監督:山内ケンジ | エグゼクティブ・プロデューサー:伊達百合 | プロデューサー:野上信子、長井龍
撮影・編集:渡部友一郎 | 録音・整音:北原慶昭 | 整音:杉田知之 | 効果:ERIKA | 音楽:大城静乃
スタイリスト:増井芳江 | ヘアメイク:たなかあきら(TTA)、樺澤晴(TTA) | 造形:山下昇平
キャスティング:山内雅子 | 制作進行:中野有香、田中洋平、阿部人美、前島操、米田篤、前田智子
宣伝デザイン:細谷麻美 | イラスト:コーロキキョーコ
制作:オーバースリプ | 配給:スターサンズ

■出演
鄭亜美
岩本えり 金子岳憲 / 岩谷健司
鈴木将一朗 泉拓磨 島田桃依 浅井浩介 波多野伶奈
村上晴 赤羽千久子 西次 金谷真由美 西出結 北原州真 山内政勝
2025 | カラー | STEREO | 1 6 : 9 | 77分
【あらすじ】
都内に夫と暮らし義理父の介護をしている曜子は、ある政治家が嫌い。あることがきっかけで最近自宅でよくないことを始めている。夫は気がついていない。しかし、隣家の主婦が気がついていっているようだ。

12:10 ナマズのいた夏 (2025)

ナマズのいた夏



プロデューサー:宮西克典 中川究矢 監督:中川究矢 脚本:平谷悦郎 中川究矢
撮影:金嶺柱 照明:市川高穂 録音:横山前 助監督:國谷陽介 制作担当:天野修敬
スタイリスト:富丸晏菜 ヘアメイク:桑原里奈 美術:葉佐文香 VFX:東海林毅
スチール:中野愛子 カラリスト:大淵友加 アクションコーディネーター:柴田愛之助
セカンドユニットディレクター:佐藤周 セカンドユニット撮影:濱澤智志
ヘアメイク助手:中原優菜 演出応援:滝野弘仁 制作応援:牛丸亮 田原イサヲ
助監督見習い:仁藤颯太 車両応援:松本竜之介 宮下勇次 音楽:吉村和晃
主題歌「川辺にて」歌・作詞・作曲:寺尾紗穂
製作:ファブトーン 制作プロダクション:Power Arts Production

■出演
中山雄斗 架乃ゆら 松山歩夢 渡辺紘文 河屋秀俊
クエン・ティ・ザン クエン・ヴァン・バオ 山岡竜弘
川瀬陽太 西尾信也 古林南 岡村 洋一 林田麻里 高崎二郎
清なおみ まなこ 平岡明純 大瀬勇希 細谷隆広 柴田愛之助
2025 | カラー | STEREO | 1 6 : 9 | 86分
【あらすじ】
中学時代に亡くなった友人の墓前で旧友の哲也と再会した達生は、バイト先の元同僚・結衣と3人で、夏休みの数日間を地元の田舎町で過ごすことになる。達生の父が社長を務める経営不振の工場の寮に滞在しながら、彼らはそこで働くベトナム人技能実習生たちと交流し、それぞれが抱えていた過去と向き合っていくことになる。

14:30 THE KILLER GOLDFISH (2025)

THE KILLER GOLDFISH



監督:ユキヒコツツミ
脚本:菅野孝幸
プロデュース:森谷雄
主題歌:Alisa「Hourglass」
原作・製作・配給:SUPER SAPIENSS

■出演
岡エリカ 高橋佳成
池浪玄八 伊藤さゆり 菊千代 伊藤陽佑 渡邊泰良
藤嶋花音 花柳のぞみ 比佐仁 児玉純一
窪塚愛流 瀬戸琴楓 春本ヒロ
前田隆成 川久保拓司 吉岡睦雄 伊藤慶徳 つじかりん
梶裕貴(声の出演) / 窪塚洋介 / 佐藤二朗
2025 | カラー | STEREO | 1 6 : 9 | 94分
【あらすじ】
2022年、日本。金魚による殺人事件が多発していた。公安特設課超常事件想定班(マル超)の塚本李花は、ベテラン刑事の山中伝蔵、東大卒若手ホープの立花雪根とチームを組み捜査に乗り出す。金魚の卵丸、人体の消失、神代の遺跡... 塚本李花たちは様々な「異常」との接触を重ね、やがて「ネアンデルタール人の怒り」というキーワードへと辿り着くのだった。

16:55 クロージングセレモニー＋Good Luck (2024)

Good Luck



監督:足立紳
撮影:依藤太
演出:草場尚也
録音:白井勝
演出:草場尚也
制作:太田勝一郎
編集:平野一樹
プロデューサー:釘宮道広、森田真帆、坂井正徳、足立見子

■出演
佐野弘樹 天野はな 加藤紗希
篠田諒 剛力彩芽 板谷山夏
2024 | カラー | STEREO | 1 6 : 9 | 104分
【あらすじ】
太郎は自主映画を作っている自称映画監督。30歳間際だが一緒に暮らす女性に食べさせてもらっている。そんな太郎が自主映画のコンクールで入選して大分県別府で行われる映画祭に行く。太郎は意気揚々と現地に向かうが、上映会では主催の女性から映画を厳しく批判されて落ち込んでしまう。太郎はパーティーにも出席せずに翌日フラフラと隣町へ行く。そこで昨日太郎の映画を偶然観ていたという未希という女性に声をかけられ、太郎と未希は一泊二日だけの小さな旅をすることになる。旅の中で、太郎は映画作りで自信を持てない自分を未希にさらけ出す。正体不明ではあるが、明けやかな性格の未希にはなぜか太郎は素直な自分でいられるのだ。